

2014年6月30日

就職みらい研究所

株式会社 リクルート キャリア

『就職活動と入社後の就業に関する調査』 —若手社会人の入社1年目の状況 概況編—

株式会社リクルートキャリア（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：水谷 智之）のよりよい就職・採用の在り方を追究するための研究機関・就職みらい研究所（所長：岡崎 仁美）は、就職活動と入社後の就業に関する状況を明らかにするため、社会人を対象に調査を実施いたしました。

このたび調査結果がまとまりましたので、一部を抜粋し「若手社会人の入社1年目の状況 概況編」としてご報告申し上げます。

—要 約—

【入社時の配属先に関することについて】・・・P3

- 入社時の配属先の希望聴取は、「入社前に聞いてもらえる機会があった」が44.0%で、「入社後に聞いてもらえる機会があった」の17.3%を合わせた61.3%が、聞いてもらえる機会があった。
- 入社時の配属先の納得感については、納得したのは、86.6%であったが、納得しなかったのは13.4%だった。

【入社1年目時のメンター・教育担当者の有無、目標となった人、周囲からの評価実感について】・P4

- 入社1年目時に、目標となった人は誰であったかについては、「同じ部署の先輩」が41.0%と最も多く、次いで、「上司」の22.5%であった。一方で、目標となった人がいなかったのは、3割であった。

【入社前後でのギャップ、ギャップがあったうちマイナスに働いた項目について】・・・P5

- 入社前後でのギャップがあったうち、マイナスに働いた項目の上位を見ると、「勤務時間・休日」（24.5%）、「社内ルール・常識」（21.5%）、「給与・福利厚生」（21.4%）、「上司の能力や資質」（21.3%）と続く。「マイナスに働いたものはない」は2割近くだった。

【入社1年目時の「うれしかった」、「成長を感じられた」などを感じた経験について】・・・P6

- 入社1年目時の、「成長を感じられた」「つらさを乗り越えた」と感じた経験を見ると、「成長を感じられた」のは6割近くで、「つらさを乗り越えた」も半数近くであった。

【入社1年目時の職務や組織への適応を促進する行動やスタンスについて】・・・P7

- 入社1年目時の行動やスタンスの項目のうち、行動やスタンスができていた上位項目は、「上司や先輩に報告・連絡・相談しながら仕事を進めた」（75.1%）、「任された仕事は、最後までやり遂げようとしていた」（74.6%）、「失敗をしてもあきらめずに物事に取り組んでいた」（73.3%）、「学んだり気づいたことは、すぐ実行するようにしていた」（72.2%）、「過去の経験から学んだことを仕事の中で生かしていた」（64.8%）であった。

【入社1年目時の職場・仕事の満足感、同期と比較したときの活躍実感について】・・・P8

- 入社1年目時における、職場・仕事に対する満足感は、満足していたのは半数以上であった。
- 入社1年目時における、同期と比較したときの仕事上の活躍実感は、活躍していたのは34.7%であった。
- 入社前における、仕事をやる上での活躍意向は、活躍したいと思っていたのは8割近くだった。

【本件に関するお問い合わせ先】
株式会社リクルートキャリア コーポレート戦略統括部 社外広報グループ宛
Mail : kouho@waku-2.com

【目次】

調査概要	2
1) 入社時の配属先に関することについて	3
2) 入社時において、その企業で働こうと思っていた年数について	3
3) 入社1年目時のメンター・教育担当者の有無、 目標となった人、周囲からの評価実感について	4
4) 入社前後でのギャップ、 ギャップがあったうちマイナスに働いた項目について	5
5) 入社1年目時の「うれしかった」、「成長を感じられた」などを感じた経験について	6
6) 入社1年目時の職務や組織への適応を促進する行動やスタンスについて	7
7) 入社1年目時の職場・仕事の満足感、同期と比較したときの活躍実感について	8

【調査概要】

調査目的：若手社会人の、就職活動と入社後の就業やパフォーマンスとの関係性を明らかにする。

調査方法：インターネット調査 調査協力：株式会社インテージ

調査対象：インテージ社のモニターにスクリーニング調査を行い、首都圏（1都3県）、東海（4県）、関西（2府4県）在住、大学・大学院（修士課程）卒で、2008年～2013年に正社員として入社し、現在も正社員として働いている22～35歳の男女 8,708名を対象にした。

—地域区分の内訳—

首都圏：埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県

東海：岐阜県、静岡県、愛知県、三重県

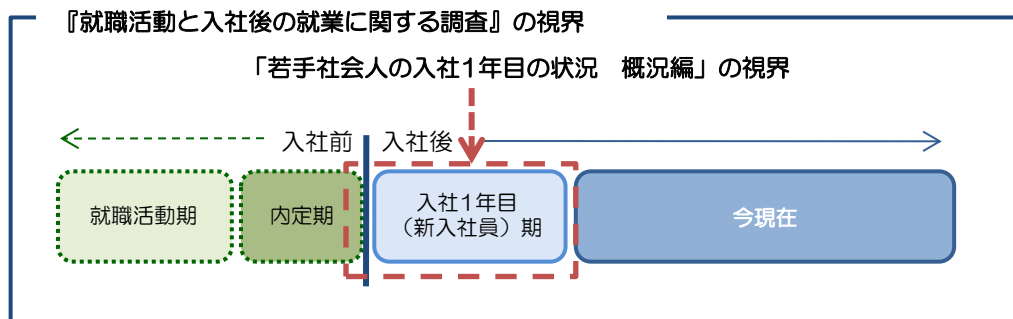
関西：滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県、和歌山県

調査期間：2014年2月28日～3月10日

有効回答：3,098人（回収率35.6%）

主な質問内容：就職活動実施時の活動内容等、入社1年目の状況、現在の状況など

≪本資料（若手社会人の入社1年目の状況 概況編）の概要≫



●集計対象：調査時点において、入社1年目（2013年入社）～3年目（2011年入社）の1,391人

●質問項目：最初の配属先の状況、入社1年目時の状況

≪調査結果を見る際の注意点≫

■ %を表示する際に小数点第2位で四捨五入しているため、%の合計値や差の数値と計算値が一致しない場合がある

1) 入社時の配属先に関するについて

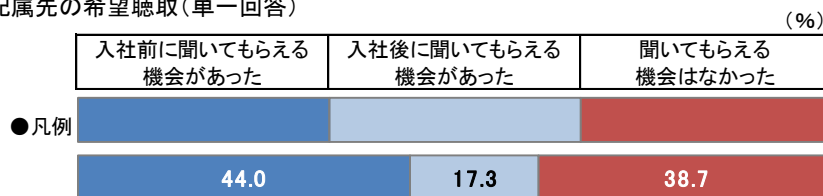
入社時の配属先（以下、配属先）の希望聴取は、「入社前に聞いてもらえる機会があった」が44.0%で、「入社後に聞いてもらえる機会があった」の17.3%を合わせた61.3%が、聞いてもらえる機会があった。

配属先の希望感については、「希望通りだった」「おおむね希望していた通りだった」を合わせると、7割強がほぼ希望通りの配属先であった。

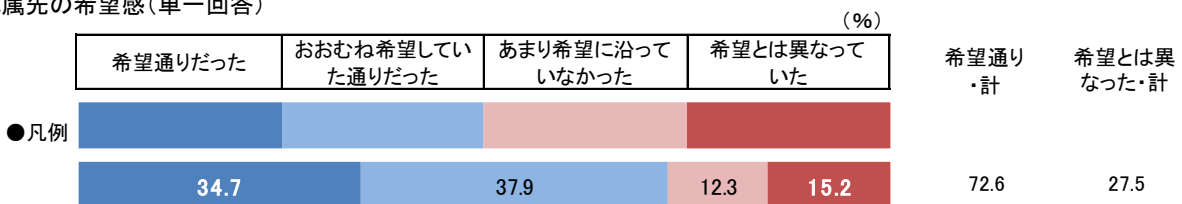
配属先について人事担当者からの説明の有無は、おぼえていないのが1割強であるものの、説明があった・なかったは、4割強と同じ割合であった。

配属先の納得感については、納得した（「納得した」＋「まあ納得した」）は、86.6%であったが、納得しなかった（「あまり納得しなかった」＋「納得しなかった」）は13.4%だった。

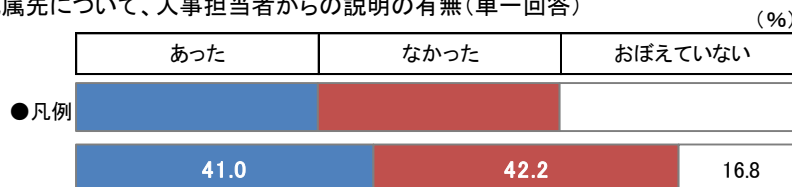
■ 配属先の希望聴取（単一回答）



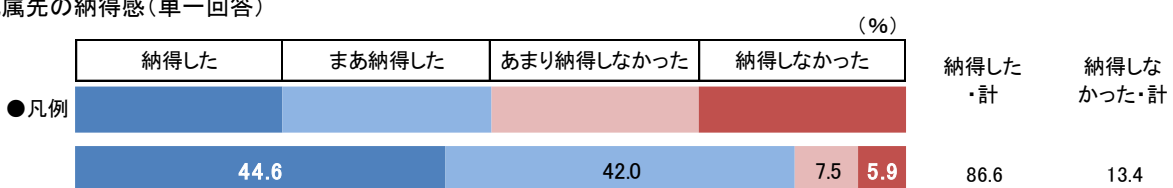
■ 配属先の希望感（単一回答）



■ 配属先について、人事担当者からの説明の有無（単一回答）



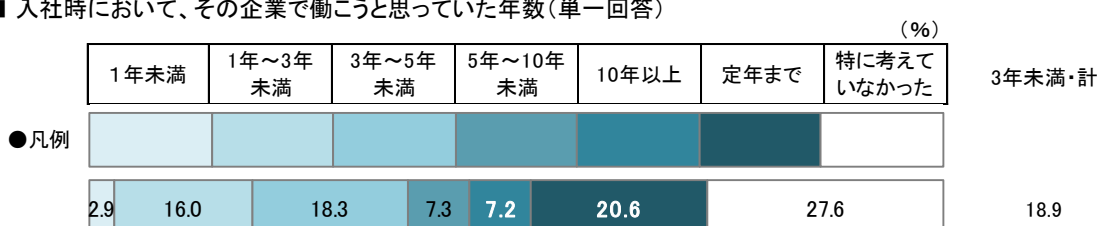
■ 配属先の納得感（単一回答）



2) 入社時において、その企業で働こうと思っていた年数について

入社時において、その企業で働こうと思っていた年数を見ると、「特に考えていなかった」が27.6%と3割近くとなっているものの、最も多いのは、「定年まで」の20.6%で、次いで「3～5年未満」18.3%が多かった。

■ 入社時において、その企業で働こうと思っていた年数（単一回答）



3) 入社1年目時のメンター・教育担当者の有無、目標となった人、周囲からの評価について

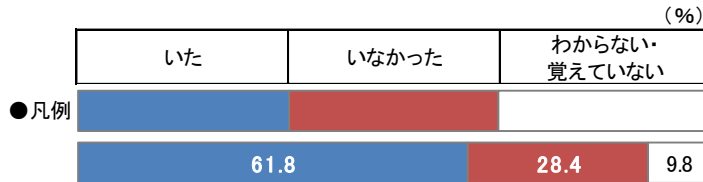
入社1年目時において、メンター（相談できる人）・教育担当者がいたのは、61.8%であった。

入社1年目時に、目標となった人は誰であったかについては、「同じ部署の先輩」が41.0%と最も多く、次いで、「上司」の22.5%であった。一方で、目標となった人がいなかったのは、3割であった。

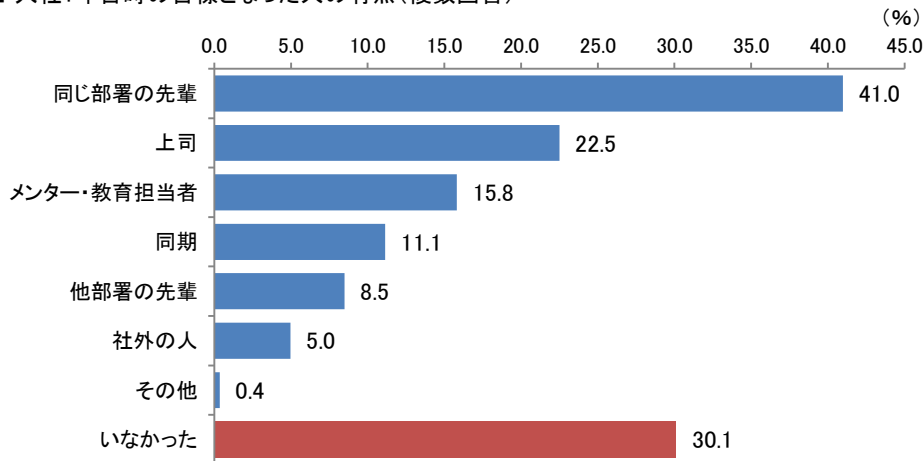
入社1年目時において、周囲（「上司」「メンター・教育担当者」「同僚（職場の人）」）からの評価実感について見ると、総じて、評価してくれていたと思っていたのが多かった。

一方で、「上司」から評価されていないと思っていたのは14.4%と、「メンター・教育担当者」や「同僚（職場の人）」の9.7%、9.8%よりも多かった。

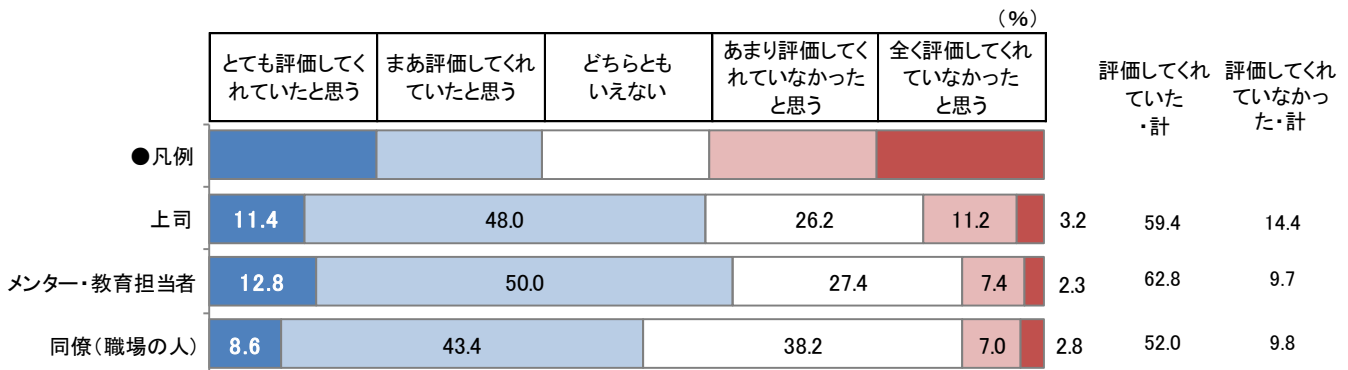
■ 入社1年目時のメンター（相談できる人）・教育担当者（単一回答）



■ 入社1年目時の目標となった人の有無（複数回答）



■ 周囲からの評価実感 上司、メンター・教育担当者、同僚（職場の人）（それぞれ単一回答）



4) 入社前後でのギャップ、ギャップがあったうちマイナスに働いた項目について

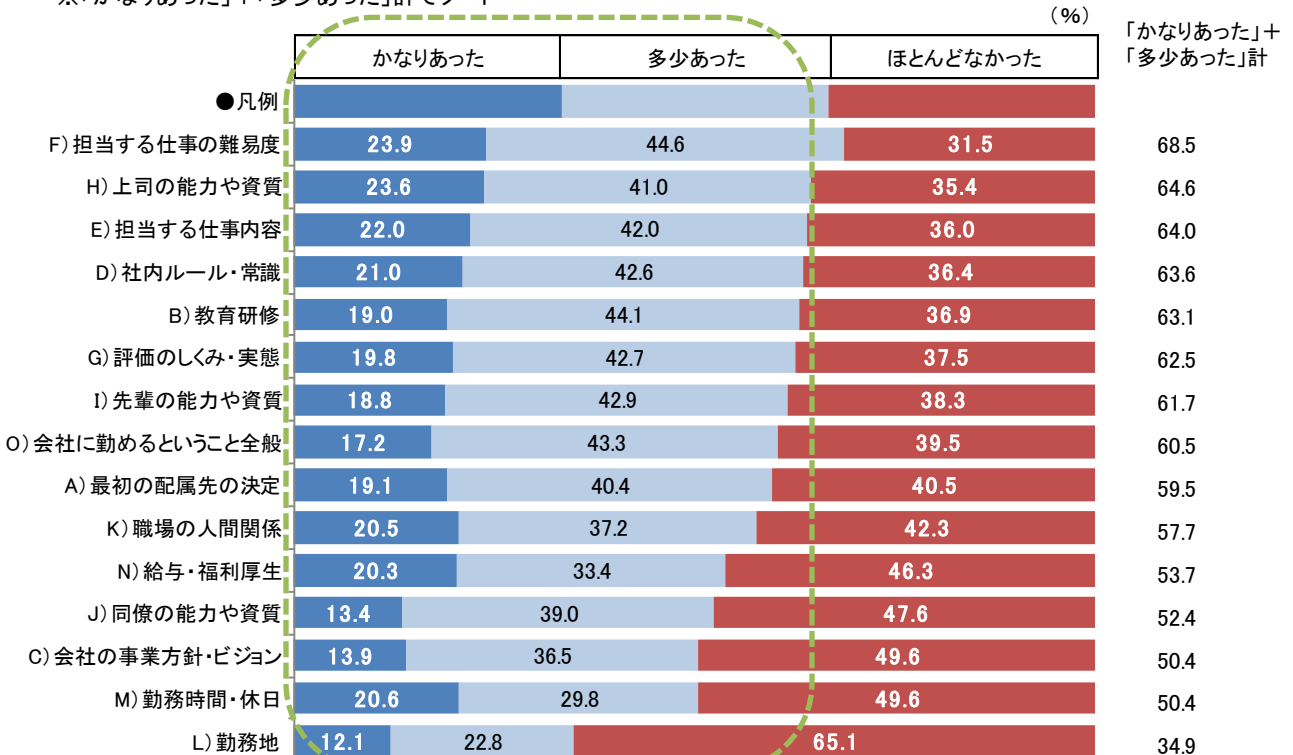
入社前後において、プラス・マイナスの両面でギャップがあった（「かなりあった」＋「多少あった」）項目を見ると、ギャップがあった上位項目は、「担当する仕事の難易度」（68.5%）、「上司の能力や資質」（64.6%）、「担当する仕事の内容」（64.0%）、「社内ルール・常識」（63.6%）、「教育研修」（63.1%）と続く。

一方、ギャップがほとんどなかった項目は、「勤務地」（34.9%）であった。

ギャップがあったうち、マイナスに働いた項目の上位を見ると、「勤務時間・休日」（24.5%）、「社内ルール・常識」（21.5%）、「給与・福利厚生」（21.4%）、「上司の能力や資質」（21.3%）と続く。また、2割近くが、マイナスに働いたものはないようだった。

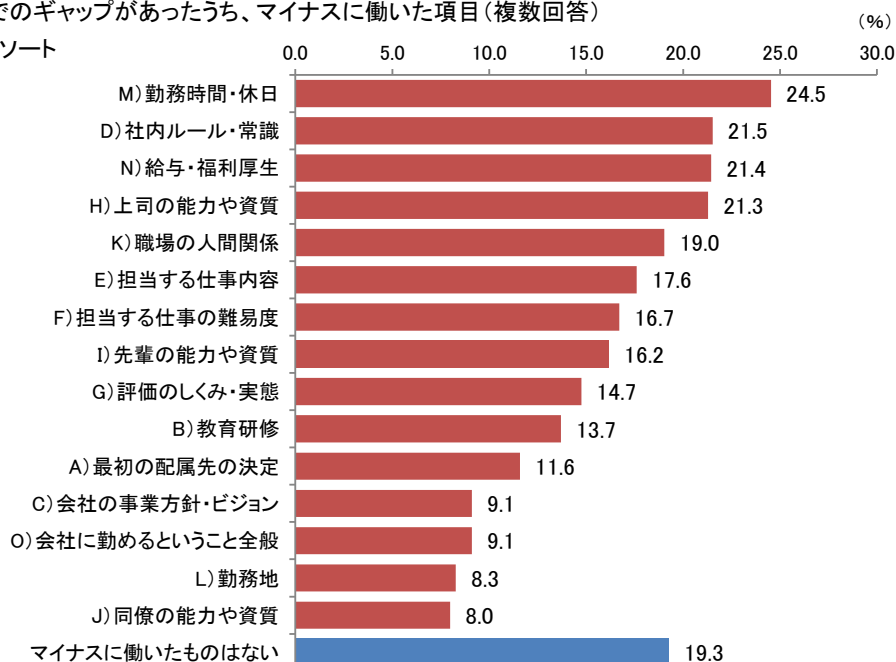
■ 入社前後でのプラス・マイナス両面におけるギャップ項目（それぞれ単一回答）

※「かなりあった」＋「多少あった」計でソート



■ 入社前後でのギャップがあったうち、マイナスに働いた項目（複数回答）

※降順でソート



5) 入社1年目時の「うれしかった」、「成長を感じられた」などを感じた経験について

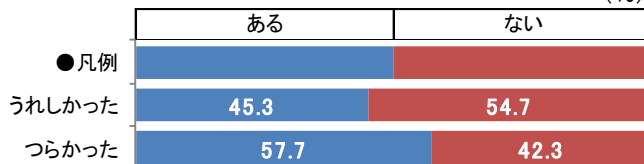
入社1年目時において、「うれしかった」と特に感じたのは45.3%で、「つらかった」と特に感じたのは57.7%と、つらかったと特に感じた方が多かった。

「うれしかった」と「つらかった」をクロスで見ると、うれしかったことがなく、つらかったのみは2割強であった。

入社1年目時の、「成長を感じられた」「つらさを乗り越えた」と感じた経験を見ると、「成長を感じられた」のは6割近くで、「つらさを乗り越えた」も半数近くであった。

「成長を感じられた」と「つらさを乗り越えた」をクロスで見ると、成長を感じられ、つらさを乗り越えたのは4割強であった。

■ 「うれしかった」「つらかった」と特に強く感じた経験の有無(単一回答) (%)



□ 「うれしかった」「つらかった」とのクロス集計 (%)

		「つらかった」	
		ある	ない
「うれしかった」	ある	35.5	9.8
	ない	22.2	32.5

□ 「うれしかった」「つらかった」と特に強く感じた経験についてのコメント(自由回答)

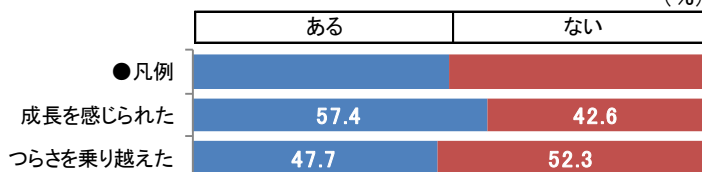
【うれしかった】

- 1つの仕事が完成したときに上司や先輩にほめられたこと。
- 古い資料を整理して新しい資料を作り変えたときに、上司たちに褒めてもらったこと。
- 顧客に苦勞して納得してもらった時。
- 先輩や上司が信頼して、仕事を任せてくれていること。
- 希望部署に異動することになった時、喜んでくれた。
- ちゃんと上司が見てくれていた。
- 失敗して落ち込んでいた時、お客様からありがとうと言ってもらえたことが心に染みえた。
- 理解しあえる同僚がいたこと。
- あなたがいると場が明るくなると言われた。

【つらかった】

- 仕事を一生懸命するあまり、残業が多く、プライベートな時間は全くなかった。
- 残業についての考え方が先輩や上司と意見があわなかった。
- 仕事が全くわからなくて、やっていけないと思ったこと。
- お酒の場がしんどかった。
- お客様からクレームを受けたこと。
- 職場の人間関係になじめず孤立していた。
- 雑用ばかりで、全く教育を行ってもらえなかった。
- 適正な評価を貰えなかった。
- ミスを連発し、周囲に迷惑をかけたこと。

■ 「成長を感じられた」「つらさを乗り越えた」と感じた経験の有無(単一回答) (%)



□ 「成長を感じられた」「つらさを乗り越えた」とのクロス集計 (%)

		「つらさを乗り越えた」	
		ある	ない
「成長を感じられた」	ある	43.0	14.5
	ない	4.7	37.8

□ 「成長を感じられた」「つらさを乗り越えた」と感じた経験についてのコメント(自由回答)

【成長を感じられた】

- 改善提案を出し実行、結果を出した。
- 自分で勉強や工夫をして、結果を出せたこと。
- 1人で仕事を任せられる機会が多かったため、責任感と社会人としての自覚がもてた。
- 売上を取れるようになった。
- 客からありがとうと言われた。
- 上司からほめられたこと。
- 先輩がいてないに教えてくれたこと。
- 人と接する機会が多いので、価値観の合わない人とも会話を進められるようになった。
- 時間の使い方を意識できるようになった。
- 社会人として大切なことがわかった。

【つらさを乗り越えた】

- 失敗ばかりだったが、次第に改善していった。
- 苦情を言われたお客様と最終的には和解ができたとき。
- 仕事がうまくいかない時に過去のノートを見直して知識を得て仕事ができるようになった。
- 営業先のお客様から何度も大声で叱責されたり、無視されても毎日営業に通い、同僚に励まされながら仕事を続け、その会社から契約をいただけたこと。
- 仕事が一度に集中する機会があったが、優先順位を考えたうまくこなせることになったこと。
- 父が失敗しながら成長しなさいと言ってくれたこと。
- 上司の方針が理解できずにやめようと思っていたが、辞めずに2年目を迎えられること。

6) 入社1年目時の職務や組織への適応を促進する行動やスタンスについて

入社1年目における、職務や組織への適応を促進する行動やスタンスについて、24項目で見る。

24項目のうち、行動やスタンスができていた（「あてはまる」＋「ややあてはまる」）上位項目は、「上司や先輩に報告・連絡・相談しながら仕事を進めた」（75.1%）、「任された仕事は、最後までやり遂げようとしていた」（74.6%）、「失敗をしてもあきらめずに物事に取り組んでいた」（73.3%）、「学んだり気づいたことは、すぐ実行するようにしていた」（72.2%）、「過去の経験から学んだことを仕事の中で生かしていた」（64.8%）であった。

一方、行動やスタンスができていなかった（「あまりあてはまらない」＋「あてはまらない」）項目は、「上司や先輩からのフィードバックを進んで求めていた」（34.0%）、「自分がやりたい／興味のある仕事を上司等に伝えていた」（33.7%）、「関係者のニーズや期待を知るために働きかけていた」（29.5%）、「将来の目標を見据えて職場での当面の目標を立てていた」（26.3%）、「今の仕事の価値や意味を掘り下げて考える事が多かった」（23.4%）であった。

■入社1年目における職務や組織への適応を促進する行動やスタンス(それぞれ単一回答)

※「あてはまる・計」でソート

	(%)								
	あてはまる	ややあてはまる	どちらともいえない	あまりあてはまらない	あてはまらない	あてはまる・計	あてはまらない・計		
●凡例									
上司や先輩に報告・連絡・相談しながら仕事を進めた	24.8		50.3		16.9	6.2	1.8	75.1	8.0
任された仕事は、最後までやり遂げようとしていた	22.9		51.7		17.2	6.5	1.7	74.6	8.2
失敗をしてもあきらめずに物事に取り組んでいた	19.8		53.5		18.6	6.2	1.9	73.3	8.1
学んだり気づいたことは、すぐ実行するようにしていた	17.8		54.4		19.6	6.3	1.9	72.2	8.2
過去の経験から学んだことを仕事の中で生かしていた	16.3		48.5		23.1	9.2	2.8	64.8	12.0
これまで学んだ／経験した事を振り返るようにしていた	15.7		49.0		22.7	9.6	3.0	64.7	12.6
行動の結果を踏まえ次の行動を改善するようにしていた	13.5		51.0		23.9	9.1	2.4	64.5	11.5
人の話から自分の態度や考え方を直すことが多かった	14.7		47.0		26.0	9.6	2.7	61.7	12.3
人の働き方を観察し自分との共通点や違いをよく考えた	16.5		44.9		25.5	9.9	3.1	61.4	13.0
自分なりに調べ、考えてから上司や先輩に相談していた	11.1		49.5		21.5	13.4	4.5	60.6	17.9
求められる知識やスキルを満たしているかをよく考えた	14.6		44.5		25.9	12.3	2.7	59.1	15.0
どんな経験や知識、スキルを蓄積していくかをよく考えた	15.0		43.2		25.0	12.4	4.3	58.2	16.7
仕事を通じて、どう成長していけそうかをよく考えた	14.6		42.6		25.3	11.8	5.8	57.2	17.6
仕事の質を高めるための工夫をしていた	11.1		45.6		29.0	11.6	2.7	56.7	14.3
職場の人との関係を深められるよう自分から働きかけた	15.4		39.5		25.1	15.0	5.0	54.9	20.0
他の人の立場から自分の状況を考えてみる事があった	13.4		40.4		27.5	13.7	5.1	53.8	18.8
経験した事だけでなく取り組み姿勢も振り返っていた	10.4		40.8		29.3	15.5	4.0	51.2	19.5
うまくいかない時、さまざまな角度から原因を追究した	10.2		40.5		29.3	15.9	4.1	50.7	20.0
将来の目標を見据えて職場での当面の目標を立てていた	12.1		36.3		25.3	19.4	6.9	48.4	26.3
今の仕事の価値や意味を掘り下げて考える事が多かった	11.9		35.2		29.6	17.6	5.8	47.1	23.4
難しいと思うことに率先して取り組むようにしていた	10.4		35.7		31.8	16.8	5.2	46.1	22.0
自分がやりたい／興味のある仕事を上司等に伝えていた	9.6	29.8		27.0	24.1	9.6		39.4	33.7
関係者のニーズや期待を知るために働きかけていた	7.4	29.8		33.3	22.2	7.3		37.2	29.5
上司や先輩からのフィードバックを求めていた	7.5	28.9		29.5	25.1	8.9		36.4	34.0

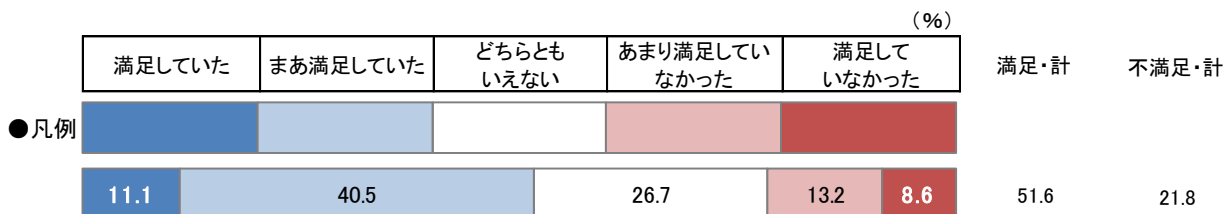
7) 入社1年目時の職場・仕事の満足感、同期と比較したときの活躍実感について

入社1年目時における、職場・仕事に対する満足感は、満足していた（「満足していた」＋「まあ満足していた」）のは半数以上であったが、満足していなかった（「あまり満足していなかった」＋「満足していなかった」）は、2割を超えていた。

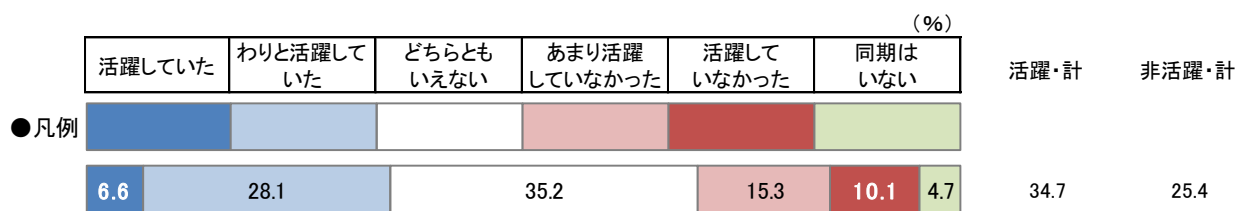
入社1年目時における、同期と比較したときの仕事上の活躍実感は、活躍していた（「活躍していた」＋「わりと活躍していた」）のは34.7%であったが、活躍していなかった（「活躍していなかった」＋「あまり活躍していなかった」）のは25.4%であった。

入社前において、仕事をする上での活躍意向を見ると、「活躍したいと思っていた」「どちらかという活躍したいと思っていた」を合わせると、8割近くが活躍したいと思っていたが、「どちらかという活躍したくないと思っていた」「活躍したいとは思わなかった」を合わせると、活躍したいと思わなかったのは約2割であった。

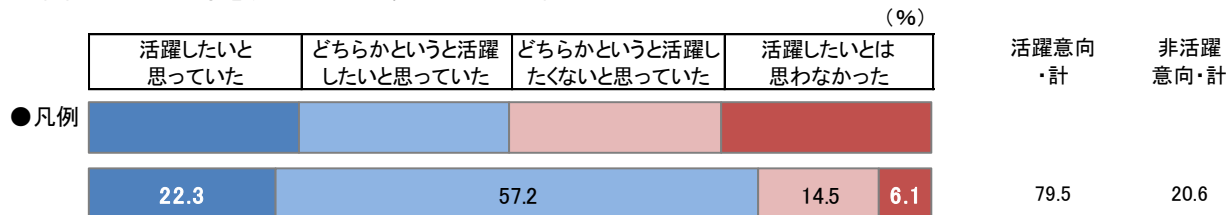
■ 入社1年目時における仕事・職場に対する満足感(単一回答)



■ 入社1年目時における 同期と比較したときの仕事上での活躍実感(単一回答)



■ 入社前における仕事をする上での活躍意向(単一回答)



参考) 現在における、仕事で活躍することの重視意向(単一回答)

